

5月29日(木) 16時~17時  
**会場: 国立国際医療研究センター  
 研修センター4階(セミナー2号室)**

**話題1**

「西アフリカのエボラ出血熱ウイルス アウトブレイク」

**話題2**

「日本の医療機関における新興感染症への備え」

**話題提供者**

加藤康幸 国際感染症対策室 室長  
 大曲貴夫 国際感染症センター センター長

**NCGMメディアセミナーとは？**

当センターが取り組む健康・医療の課題を広く共有するために開催しています。専門家からの情報収集、不明事項の確認の場、また、医療に関わる専門家がメディアの方の質問から学び、視野を広げる場とすることが目的です。質問・取材の中で必要なデータや写真等のご希望がありましたら、随時お問い合わせください。可能な範囲で対応させていただきます。

メディアセミナー事務局：  
 電話 03-3202-7181 ex 2028(広報係)  
 メール: [web-master@hosp.ncgm.go.jp](mailto:web-master@hosp.ncgm.go.jp)



加藤康幸 Yasuyuki Kato

千葉大学医学部卒業

ジョンズ・ホプキンス大学大学院修了 Master of Public Health

都立駒込病院臨床研修医、都立墨東病院感染症科医員を経て、国立国際医療センターに勤務。

現在、国際感染症センター国際感染症対策室 医長。

厚生労働科学研究による、医療従事者を対象とする一類感染症の研修会、日本未承認の熱帯病および寄生虫地感染症の治療薬の薬剤供給に関わる。

ウガンダにおけるエボラ出血熱アウトブレイク時、今回の西アフリカにおけるエボラ出血熱ウイルス感染症への国際対策チームに日本人専門家として参加。

大曲貴夫 Norio Ohmagari

佐賀医科大学医学部 卒業

ロンドン大学大学院修了 Master of Science

聖路加国際病院 内科レジデント、The University of Texas-Houston Medical School 感染症科、静岡がんセンター感染症内科 部長を経て2011年に国立国際医療研究センター国際疾病センター副センター長、2012年より国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長。

グローバルヘルスおよびグローバル医療を掲げるナショナルセンターの感染症部門の責任者として、新興・再興感染症への備え、研究、医療者教育に関わる。

## 参加申し込みFAXまたはメール

※会場・資料準備の都合上、前日までにお送りください  
(会場変更などがある場合のみ返信をいたします)

氏名:

所属:

部署名:

電話:

FAX:

E-mail:

※セミナー終了後の施設見学希望      あり ・ なし

## 申し込み先

FAX: 03-3202-1012

メール: [info-dcc@hosp.ncgm.go.jp](mailto:info-dcc@hosp.ncgm.go.jp)